

平成30年度学校保健及び学校安全表彰(文部科学大臣表彰)について

このことについて、文部科学省初等中等教育局長から下記のとおり被表彰者を決定した旨通知がありました。

この表彰は、学校保健及び学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果をあげた個人、学校及び団体を文部科学大臣が表彰するものです。

なお、表彰式は10月25日(木)に鹿児島県で開催される平成30年度全国学校保健・安全研究大会の中で執り行われます。

記

- 1 栃木県立足利中央特別支援学校 学校医
青木 楊子 氏(74歳)

【功績概要】

平成4年4月から現在までの26年間、足利市内の学校で学校医精神科、内科を歴任し、児童生徒の健康の維持・増進に尽力、さらに市が実施する「精神科医による教育相談」において児童生徒のメンタルヘルスにも尽力し、学校保健の普及・向上に貢献した。

- 2 日光市立今市第二小学校 学校歯科医
福田 新一 氏(67歳)

【功績概要】

昭和55年4月から現在までの38年間、日光市内の学校で学校歯科医を歴任し、児童生徒の口腔に関わる疾病の予防、歯科衛生思想の普及啓発と歯科医師会が実施する幼児や学童に対するフッ素塗布事業等に尽力し、学校保健の普及・向上に貢献した。

- 3 栃木県立上三川高等学校 学校薬剤師
山田 利信 氏(62歳)

【功績概要】

昭和60年4月から現在までの28年間、小山市内、上三川町内及び下野市内の学校で学校薬剤師を歴任し、学校環境衛生の向上、児童生徒の健康の保持・増進、薬物乱用防止教育等に尽力し、学校保健の普及・向上に貢献した。